

第2学年 国語科学習指導案

実施日：平成24年10月3日（水）

第1校時 8:45～9:35

対 象：第2学年A組在籍22名

指導者：杉並区立和泉中学校

都木 求枝

- 1 単元名 「辞書を使って語彙を広げよう」
- 2 単元の目標 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（イ）】
 - ・辞書を使って複数の語句を調べ、語句の意味の広がりについて関心をもつ。
 - ・多くの語句を整理して言葉のきまりを見つけ、正しく表記しようとする。
- 3 学習指導計画（全2時間）

時	学習内容と活動	・指導上の留意点 ■評価
1	①単元の目標を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">「辞書を使って語彙を広げよう」</div> ②辞書の特長や使い方について確認する。 生徒の反応…「手を使うと脳が活性化する」、「知らなかった言葉に出会う」、「漢字の表記の仕方がわかる」 ③グループごとに文中に当てはまる言葉を調べる。 ④全体で発表する。 生徒の反応…他の人が見つけた言葉が本当に文に当てはまるか、辞書を使って確かめている。 ⑤「言う」の複合語を辞書から探す。 ⑥全体で発表する。 言い合う、言い争う、言い返す等。 ⑦学習の振り返りをする。 生徒の反応…「一つの言葉も関連する語を調べていくと、様々な表現に出会うことがわかった」等。	・言葉を知ることの意味について考える。 ・言葉の意味を調べることの大切さに気付かせる。 ・既習事項の確認をする。 （辞書の種類、語句の並び方や調べ方等） ・辞書にある多くの語の中から、例文にふさわしい語を吟味する。 ・あ、か、さ行は語句が多いこと等を発見させる。 ・複合語に着目することで、語彙が広がることに気付かせる。 ■辞書を使って複数の語句を調べ、語句の広がりを実感し、言葉に興味をもつ。

2 (本時)	①学習目標を確認する。 ②問題文にあてはまる言葉を調べる。 ③調べたことをもとに、長音の仮名遣いについて気付いたことを発表する。 ④歴史的仮名遣いにおける言葉のきまりについて考える。 ⑤辞書を使って、様々な語句（長音）について調べる。 ⑥学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識だけではなく、辞書を使ってより多くの語句を調べるようにする。 ・長音の特徴について、調べたことをもとに整理して気付かせる。 ・漢字での表記の違いから、仮名遣いのきまりについて知る。 ・歴史的仮名遣いの語句を現代仮名遣いに直す。 ・身近な語句や外来語の長音の表記について確認する。 ■ 仮名遣いのきまり（長音）を知り、正しく表記することができる。 ・単元を通して学んだことや興味をもった言葉等についても触れる。 ・単元を通して、新たに知った言葉で文作りをする。 ■ 言葉の意味や広がりに関心を持ち、適切に使用しようとしている。
-----------	---	--

4 本時の指導（2/2時間目）

(1) 本時の目標

- ・多くの語句を調べ、言葉のきまりをみつけようとする。【関心・意欲・態度】
- ・仮名遣いのきまり（長音）を知り、正しく表記する。【知識・理解】

(2) 本時の展開

	学習内容と活動	教師の働きかけと生徒の反応	・指導上の留意点■評価
2 分	1 学習目標を確認する。		
	言葉のきまりを見つけよう。		
	2 前時の振り返りをする。	2-1「辞書を使うと一つの言葉から周辺の多くの語句について調べられることがわかりました。」 2-2「今日は、多くの語から言葉のきまりを見つけていきましょう。」	・教材はあらかじめ机上に用意しておく。

3分	<p>3 問題文にあてはまる言葉を考える。</p> <p>例) 大きい=お○きい 王国 =お○こく</p>	<p>3-1 「○にあてはまる言葉がわかりますか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず全員が自分の考えを書くようにする。
5分	<p>4 「おお」と「おう」から始まる言葉を調べる。</p>	<p>4-1 「辞書を使って、『おお』や『おう』と表記する言葉を調べよう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識だけではなく、辞書を使ってより多くの語句を調べるようにする。
10分	<p>5 調べたことをもとに、長音の仮名遣いについて気付いたことを発表する。</p>	<p>5-1 「このような伸ばす音のことを長音と言います。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた語句を短冊に書き、黒板に貼らせる。 ・興味をもった言葉や難しい言葉の意味も調べるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ おお…大穴、大慌て、大威張り、多い大奥、大鏡、大喜び等。 ・ おう…追う、負う、王位、王冠、王子、奥義、王室、王者等。 ・「おお」→「大」の付く語が多い。 ・「おう」→「王」の付く語が多い。 	<p>5-2 「『おお』と表記するものには、どのような語句がありますか。」</p> <p>5-3 「『おう』と表記するものには、どのような語句がありますか。」</p> <p>5-4 「比較して、気付いたことを発表してください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長音の特徴について、調べたことをもとに整理して気付かせる。 ・漢字での表記の違いから仮名遣いのきまりについて知る。 ■辞書を使って複数の語句を調べ、仮名遣いのきまりを見つけようとしている。 【発言・学習シート】
10分	<p>6 歴史的仮名遣いにおける言葉のきまりについて考える。</p>	<p>6-1 「枕草子の歴史的仮名遣いを読みましよう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認。 ・歴史的仮名遣いにおいても仮名遣いのきまりが当てはまることに気付かせる。
	<p>大君… おほきみ→おおきみ 王位… おふい→おうい</p>	<p>6-2 「長音は、歴史的仮名遣いではどのように表記するでしょうか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な語句や外来語の長音の表記について確認する。

15分	7 辞書を使って、様々な語句（長音）について調べる。	<p>7-1 『放送、姉さん、先生、通り、オーディション』の語をひらがなで書きましょう」</p> <p>7-2 「二択クイズをします。」</p> <p>7-3 「調べた語句について気付いたことやわかったことを書きましょう。」</p>	<p>■仮名遣いの決まり（長音）を知り、正しく表記することができる。 【発言・学習シート】</p> <p>・単元を通して学んだことや興味をもった言葉等についても考えて書くようにする。</p> <p>■言葉の意味や広がりに興味をもち、適切に使おうとしている。</p>
5分	8 学習の振り返りをする。	<p>8-1 「今日の授業を振り返り、わかったことや感想を書きましょう。」</p> <p>8-2 「単元を通して、新たに知った言葉で短文作りをしましょう。」</p>	

(3) 評価 (B 評価)

- ・多くの語句を調べ、言葉のきまりをみつけようとしている。【発言・学習シート】
- ・言葉の意味や広がりに興味をもち、適切に使おうとしている。【学習シート】
- ・仮名遣いのきまり（長音）を知り、正しく表記することができる。【学習シート】